

「脳性麻痺児の機能分類システムの確立と粗大運動能力との関係」 ～診療情報の研究利用についてご協力のお願い～

脳性麻痺がある方々の手指操作能力、コミュニケーション能力、摂食・嚥下能力の重症度を分類することは、予後予測や施設間での情報共有に重要です。それらの能力を分類する機能分類システムの日本語版を作成し信頼性・妥当性を検証する研究を実施することとなりました。

調査の対象となるのは、1997年7月以降に出生し、脳性麻痺と診断され、当センターを受診された方の中の3～18歳の方について、カルテに記載または電子カルテに入力された診療情報を利用させていただきます。

調査項目は、年齢、性別、粗大運動機能などです。データは匿名化して適切に管理しますので、対象者の方々のお名前や住所など、プライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、負担が生じることもありません。

調査したデータは機能分類システムの確立に向けて、研究の実施協力者が所属する札幌医科大学医学部公衆衛生学講座で集計、解析いたします。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがありますが、この場合も、対象者の方々の個人が特定されるようなことはありません。

この研究への協力を希望されない場合は、お手数ですが、下記までご連絡ください。主治医や担当のセラピストにその旨お伝え頂いても結構です。

ご協力をよろしくお願いいたします。

研究組織：

実施責任者 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション課 PT 西部寿人

住所：〒006-0041 札幌市手稲区金山1条1丁目

連絡先：電話 011-691-5696 FAX 011-691-1000

E-mail nishibu.hisato@pref.hokkaido.lg.jp

実施協力者 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 PT 樋室伸顕

実施協力者 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション小児科 續晶子

実施協力者 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション課長 水上伸子

実施協力者 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション課 PT 井上和広